

【2018年 第44回社会人野球日本選手権大会 報道規約】

日本野球連盟 毎日新聞社

すべての報道関係者は第44回社会人野球日本選手権大会の取材にあたり、以下の規約を守ってください。取材はゲーム等の進行の妨げにならないよう主催者の指示に従ってください。

- 1 取材の目的は、原則スポーツ報道のみとします。
- 2 記者（ペン）、写真記者（カメラマン）、テレビなど、京セラドーム大阪に入るすべての報道関係者に「取材証」IDカードを発行します。初回に限り、受付時に必ず名刺を提出してください。
受付用紙に社名・氏名・携帯電話番号を記入して頂いてから、IDカードを発行します。2回目以降は、名刺は不要です。
- 3 取材終了後、京セラドーム大阪退出時は必ずIDカードを返却してください（大会期間を通して取材する方は、IDカードの持ち帰り可。取材最終日に受付に必ず返却してください）。IDカードの再発行しませんので、紛失しないよう取り扱いを厳重にお願いします。なお、IDカードは第三者への譲渡・貸与はできません。申請・許可された本人のみ有効です。
- 4 資機材の搬入は最小限でお願いします。テレビ、ラジオ等で、大型の資機材を設置する場合や、電話回線等を使用する場合は、事前に主催者側に申請手続きが必要です。
- 5 すべての報道関係者は、IDカード着用の上、取材してください。
ペン取材可能エリアはベンチ裏通路、スタンドです。試合終了後も、グラウンド、ベンチ内には入らないでください。
写真・テレビ撮影可能エリアについては、別途、ご案内します。撮影に際しては、IDカードに加えて自社腕章の着用をお願いします。
取材にあたっては、観客の観戦の妨げになるなど苦情が発生しないようご注意ください。なお、取材可能と案内している場所でも、主催者が危険と判断した場合や状況によっては、取材を制限する場合があります。また、大会本部が定めた場所で会見などを行う場合があります、その場合は事前にお知らせします。
- 6 取材した記事、写真、映像等のデータを無断で第三者に提供することはできません。取材・撮影したデータの二次利用については、原則お断りします。また、写真、映像等の販売目的の撮影は固くお断りします。
- 7 報道用駐車場は、用意していません。

上記の規約に違反した方は、取材用IDカードを没収の上、取材・撮影データを消去して退去していただき、今後の取材をお断りする場合があります。

なお、お問い合わせ等は、大会本部までお願いします。

以上